

皆野長瀨ロータリークラブ

週報

- ◇例会日 第1・第3木曜日 12:30~13:30 第2・第4木曜日 18:30~19:30
- ◇例会場 長瀨レクリエーションホテル 養浩亭
- ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀨町長瀨1446 養浩亭内
Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134
e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp
- ◇点 鐘 山田 利明会長
- ◇ソング 奉仕の理想



世界への
プレゼントになろう

Be a gift to the world

第1354回例会 平成28年3月17日(木)

会長の時間

山田 利明

皆さん、こんにちは。今日は万葉の郷にお招き頂きまして、ありがとうございます。この後に新井剛太郎さんに卓話として説明して頂きます。私もこの建物に関係しております。この施設は外から見ると丸いような格好をしています。新井さんの希望で屋根の一角をUFOが飛んで来たような形にして欲しいという事で、ステンレス色が良かったのですが、銀色に近いので丸窓を付けて、何とか建築基準の則ってUFOのような形に作っています。中は丸いドームでプラネタリウムを写したいという事で半円球にしていますので、ちょっと特殊な建築物です。向こうはデイサービスや小規模多機能なので泊まっている人がいます。横に保育園がありまして、複合施設になっています。秩父にはないと思います。このホールは、来てもらって、遊んでもらうという事です。私の2番目の息子が設計しました。基本的には剛太郎さんのUFOが飛んで来たような形というのが基本です。またこれと一緒に1日1,000食作れる厨房という事でこの建物と同時に作っていました。今日皆さんが食べたお弁当はその厨房で作られた物です。今300食作っているという事です。施設をたくさん持っていますので、1日3食で300人いるとしたら900食という事になります。施設全体として考えて、将来を見据えて厨房を作ったのだと思います。後ほど新井剛太郎さんより詳しい話があると思います。



委員会報告

長岡 倉雄会員



先日次年度のロータリー財団部門セミナーが開催されました。地区補助金の申請は4月いっぱい申請するという事です。会長、会長エレクトが覚え書き書にサインをしないといけないようです。それを過ぎると今年度申請する事が出来なくなるようです。隣の席が川本RCでしたが、このセミナーに出席しないと地区補助金の申請が出来ないのですが、欠席でした。いくつかそういうクラブがありました。地区補助金については後でご検討頂ければと思います。

小規模多機能施設

万葉の郷について

新井 剛太郎会員



今日はうちの方の事業所を見学して頂いて、ありがとうございます。この小規模多機能の施設ですが、施設の関係とは違って、もう少し住民に密着した施設の方がいいのではないかといい事で国の方で小規模多機能と言って、小さい施設だけれども泊まりも出来る。ヘルパーの派遣も出来る。そこに泊まっている人達の都合によって、家族がどこか旅行に出かける時はショートのような形で長くも泊まれます。長期で泊まってもいいと。何でも利用出来るような形で小規模多機能は出来ました。制約があって、前に出来ている施設との関連があるので、小規模多機能の方ですべてが出来るという事にはならない事が起きてきます。ケアマネージャーが小規模多機能に入ると自分の持っているケアマネの利用者はそちらへ移るので自分の仕事が無くなります。だから小規模多機能の方へ人を斡旋する人がいなくなります。そういう事で小規模多機能がいっぱいになるという事が難しいです。うちも半分くらいです。そのうちにいっぱいになると思いますが。と言うのは、29年度から国は地域総

幹事報告

宮前 英雄



特に幹事報告はありません。先日PETSに出席して勉強させてもらってきました。来年度のRI会長のテーマは「人類に奉仕するロータリー」という事です。アメリカのジョン・ジャームという方です。

合事業という事で全国展開します。どこの町でも地域総合事業をやる事になります。それは要介護の人を今までは支援していましたが、医療費と介護費が増えるばかりにです。国は医療で30兆円、介護が20兆円にしたいと。そうしないと介護保険が崩壊してしまうという状態になってしまっていると。どうしてかと言うと、介護保険は要介護になった人を世話をするという事だからではないかと。要介護になる前の人をケアする事が重要ではないかという事で、29年度からどこの町村でも地域支援総合事業を始めるわけです。それに合わせてここの部屋を作ったわけではなかったのですが、そういう声は以前からあったので私としてもここを地域交流ホールにして広くしました。ここで丈夫な人が楽しく遊ぶように区切りをして利用して頂きたいという事で作りしました。今回国の方針も具体化してきて、私はここで通る人にコーヒーでも売ってと考えていたのですが、それでは人件費が出ないので、福祉の専門で行こうという事で総合事業の方に手を挙げたら市の方でいだろうと認定を受けました。ここでどのくらいの人を受け入れるかと言うと、1人15人までがいいと。そして1回のカウントが3時間半です。午前と午後に分けられるので、最大30人まで大丈夫ですが、15人の世話をするという事になると1人では無理です。1人は専門家でもう1人は補助の人が必要になります。元気な人達なので食事は自分で作って食べてもいいという形は取れますが、その世話をしなくてはならないという事で、このスペースだと1日トータルで13人くらいでどうかと。職員は最低限1.5人くらいにしていけばいいかなと。人件費と光熱費等で700万から800万掛かります。そのために15人までいいと言いますが、市の方で基準価格を330円に設定してくれました。県南から見ると低いかなと。個人が330円払って市からは3,300円払くと。そして食事を独自に出すと、食事が300円という事は600円を越えるので高すぎると。今日皆さんが食べた食事を200円くらいにして530円でここを利用出来るようにしたいと料金を設定しました。13人の利用者が毎日来れば給料も払ってやっていけると。1日13人を確保するという事が社会福祉法人の方へのしかかってきます。これが市の方でこの人は来てもいい、この人はダメと選択します。65才以上なら誰でもいいというわけではありません。70名くらいの登録が無ければやっていけません。それが果たして出来るかどうかと。そういう事で総合事業の一端をこちらで担うと。他に29年から総合事業の一環として各地域でサロンを作れと。サロンの運営は民生委員、地域の町会長とかが主体になってボランティアでやれと。いくら市から支払われるとは思いますが、そういう形でやりなさいという形です。それで1人暮らしの年寄りをどうやってケアするか。その年寄りが長く住んだ地域、自分の家で往生したいと設定した時に、誰がどういうふうに世話をしているか。そういった方向にこれから進んで行くと思います。介護保険が始まる時には長く住んだ地域で長く住んだ家で往生したいという事で介

護保険が始まりました。ところが始まってみると施設、施設になってしまいました。地域、家庭に介護をする力がなくなってしまったのでそうなってしまったのかもしれませんが。国とすると財政的にもこれ以上は無理だと。でも介護に携わっている人の給料は安すぎるので何とかしてくれという声が全国からあがっています。これが出来なければ介護の仕事をする人はいなくなってしまいますが、給料を上げたら介護保険は崩壊してしまいます。どうしたらいいかと言うと、3年後に医療と福祉の同時改定がありそうです。相当厳しい構造改革をするのではないかと思っています。私はそこを考えて、構造改革後に私の所の白砂恵慈園が生き残っているか考えています。それには今の施設だけでは職員が一生働けるだけのスペースがありません。なのでもう少し施設を増やさなくてははいけないので、今回秩父の永田町へ永田屋という小規模な特別養護老人ホームを作るという事で県の許可がおりました。特養と出来ればショートステイを付けたいと思っています。在宅介護を進めるとショートの利用が増えてくると思います。それで恵慈園が長く続くようにしたいと思っています。国の改正がどうなるかは分かりませんので、模索の状態です。投資している状態になります。改正後は自宅での看取りが全部ではないけれども2割くらいになるのではないかと。家庭で看取りをすると介護保険の方から1ヶ月10万くらい出すのではないかと。施設では50万掛かるので国とすれば安いと思います。たとえばおばあさんの年金が10万あれば20万になるので、仕事に出るより家でおばあさんを看ようという人が増えてくるのではないかと思います。そして施設で4割くらい看取りをして、医療で2割でその他があります。今医療で80%が看取りです。これを施設に振り分けたり在宅に振り分ければ安くなるので給料も上げられるようになるのではないかと私は独自に考えています。

ニコニコボックス

♪小規模多機能施設をご利用下さり、ありがとうございます。いつもお世話になります。
新井 剛太郎

♪万葉の郷にお世話になります。
山田 利明 宮前 英雄 新井 通雄
長岡 倉雄 萩原 繁 高田 富康
小林 一夫 畝 徳治 横田 博次

合計 19,000 円

出席率

免除以外の 会員	出席免除 会員	出席	メイク	出席率
12	0	10	1	91.7%